

# 研修プログラム・研修施設申請書

(申請書類1-1)

プログラムの特徴			
プログラムの名称	桐生在宅総合医フェローシップ	プログラム・コーディネーター*1	北川隆太
研修期間*2	2年	受け入れ人数*3	1名
代表施設名*4	名称	北川内科クリニック	
	住所	(〒376-0023)群馬県桐生市錦町2-12-2	
	電話番号	0277(44)7531	問い合わせ先メール kitagawa.naika.kanri@gmail.com
研修施設名2*5	(指導医 )	研修施設名3	(指導医 )
研修施設名4	(指導医 )	研修施設名5	(指導医 )
研修協力機関*6	①	②	③
研修協力医	①	②	③
研修プログラムの特徴(自由記載)	<p>本プログラムは内科・外科・麻酔科等各科専門研修を経験した医師が対象です。当院は患者の8割が自宅、2割が施設であり、自宅における在宅医療を中心とした研修となります。東京都北区の梶原診療所にて3年間研修を積んだ指導医(副院長)が、高度な在宅医療における理念・知識・技術の獲得をサポートします。在宅でがんの緩和ケアだけではなく、非がん疾患の緩和ケアについても深く学ぶことができます。在宅医療において必ず直面する認知症についても、東京都北区の認知症疾患医療センターで2年半研修をした指導医が、実践的な診療を指導します。指導医は内科出身であり、内科医師の外科手技や整形外科手技の獲得について自身の経験を元にきめ細かなサポートが出来ます。地方における在宅医療の環境を活かして、連携する各病院連携室・ケアマネージャー・訪問看護・訪問薬剤との顔の見える連携を強みとしており、ほぼ全ての患者をICTを用いて連携している他、ZOOM会議や退院カンファレンスも積極的にを行っています。(当直は自宅または当院確保のホテルにて待機頂き、往診は看護師が同行致します。平日:週1回、土日:月1回です。)</p>		
ポートフォリオ領域(研修において特に力を入れている領域について)*7	1	がん・非がん疾患の緩和ケア:エンドオブライフケアについて、豊富な実践をもとに指導します	
	2	在宅での急性期対応、摂食嚥下障害、褥瘡等の老年医学的、内科的諸課題についての対応能力を高めます。	
	3	認知症の診断から看取りまでの全ての課題に対応できる高度な認知症診療の能力を獲得して頂きます	
	4	多職種連携(地方ならではの、顔の見える関係を活かした連携)の実践について学んで頂きます	
	5	複雑困難事例への対応について豊富な実績があり、実践的な対応方法の獲得をサポートします	
<p>*1 プログラム全体の責任者名を記載して下さい。(プログラムコーディネーターは指導医に限ります)。 *2 研修期間は1年以上必要です。                  *3 受け入れ人数は指導医数の2倍を超えてはならない。 *4 プログラムコーディネーターの所属する研修機関名を記載して下さい。                  *5 代表施設名以外の研修機関の名称を、指導医のいる研修施設は指導医名をお書き下さい。プログラムに所属する研修施設の半数以上に指導医が必要です。                  *6 プログラムで何らかの協力体制にある研修機関名と協力医名を記載して下さい。 *7 ポートフォリオ領域を参照に、プログラムで特に学べる点についてお書き下さい。</p>			
研修施設概要			
研修施設名	北川内科クリニック	研修受け入れ人数*1	1名
住所	(〒376-0023)群馬県桐生市錦町2-12-2		
電話番号	0277(44)7706	F A X	0277(46)5620
メールアドレス	kitagawa.naika.kanri@gmail.com	ホームページ	<a href="https://kiryu-kitagawa-naika.com/">https://kiryu-kitagawa-naika.com/</a>
医師数(常勤/非常勤)*6	1人/1人	在宅患者数(年間の実数)*2	187人
がん患者数(年間)*2	58人	在宅看取り数(年間)*2	43人
外来診療の有無	有	入院施設の有無	無
外来人数(一日平均)	30人	ベッド数	0床
研修資源*3 (関連施設・事業所)	同一組織内の他事業所はありません。		
在宅で実施可能な手技	診断(検査)*4	(自宅) 腹部、心、体表エコー、レントゲン(CR)、BGA、携帯式心電図計測器、PSG、ホルターECG、メモリ付パルスオキシメーター等	(外来) レントゲン、ECG、超音波検査、上部消化管内視鏡、呼吸機能検査
	治療*5	持続皮下注、中心静脈栄養、PEG管理、気切、HOT、在宅人工呼吸療法(含NPPV、CPAP)、胸水、腹腔穿刺(ドレナージ)、膀胱留置カテーテル、膀胱瘻管理、胃管管理、巻き爪治療(マチワイヤー)等	
指導医氏名	① 北川隆太	②	③
指導医略歴	2012年3月 広島大学医学部卒業 2012年4月～2014年3月 呉医療センター・中国がんセンター(初期臨床研修) 2014年4月～2020年3月 順天堂大学消化器内科 (順天堂大学医学部附属順天堂医院、順天堂大学医学部附属練馬病院、江東病院にて勤務) 2020年4月～2023年3月 梶原診療所・オレンジほっとクリニック (2020年4月～2022年3月 ふれあい在宅総合医フェローシッププログラムでの研修) 2023年4月～北川内科クリニック副院長		

\*1 一つの研修施設の受け入れ人数は、指導医数の2倍を超えてはならない。指導医のいない研修施設の受け入れ人数は1名とすること。

\*2 いずれも最近1年間の患者の実数を記載して下さい。(年間看取り数10名以上の施設では、緩和ケア研修は免除になります。)

\*3 同一法人内あるいは関連施設内にある研修に関連する施設や機能(訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、訪問リハビリ、訪問栄養、訪問歯科、調剤薬局、

\*4 在宅研修施設において、診断のため実施可能な検査や使用可能な検査機器について、自宅と外来に分けてお書き下さい。

\*5 自宅で実施可能な治療をお書き下さい。

\*6 主に在宅医療に従事する医師数をお書き下さい。